

2012年3月期 第1四半期 決算 補足資料

2011年7月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

リースの、

そのつぎへ

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

1) 業績概要 (連結)

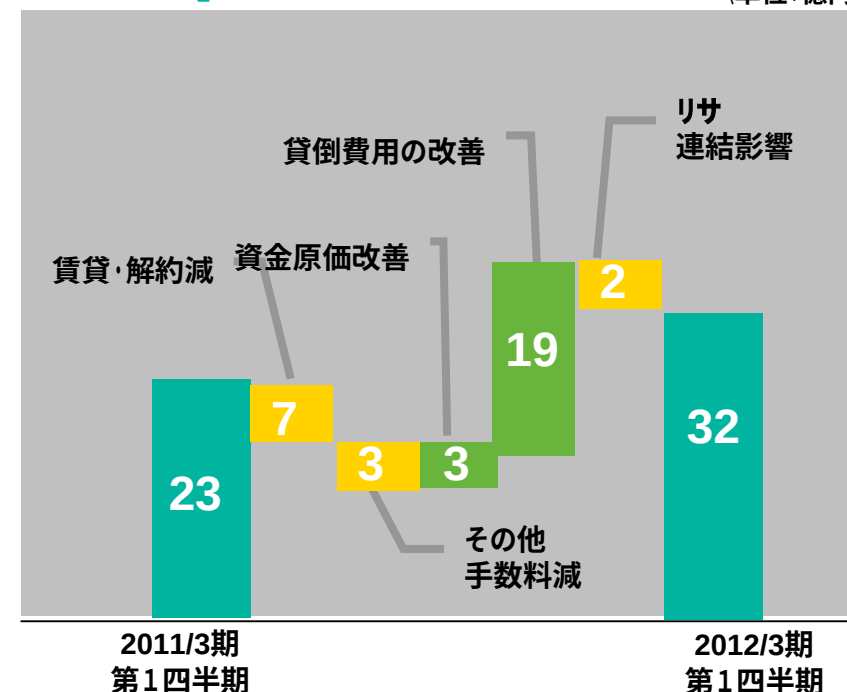
- 売上高 → リサ事業を含むも、賃貸事業の取扱減少等により、前年比1.9%減
- 経常利益 → 貸倒費用等の販管費が大きく減少し、前年比39.4%増
- 自己資本比率 → 前年同期比0.3%減 (前期末※比0.7%増) ※前期末 7.5%

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期 (RISA含まず)	2012/3期 第1四半期	前年増減
売上高	589	578	▲1.9%
営業利益	23	32	37.5%
経常利益	23	32	39.4%
四半期純利益	13	22	64.8%
1株当たり四半期純利益	61円03銭	100円56銭	—
営業資産残高	6,455	6,904	7.0%
純資産	598	731	22.2%
自己資本	616	634	2.9%
自己資本比率 (%)	8.5	8.2	—

経常利益前年比主要増減要因

(単位: 億円)



1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

2) 事業別収益 (連結)

事業別収益

(単位: 億円)

		2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	前年増減
賃貸・ 割賦事業	売上高	527	479	▲9.2%
	売上原価	464	420	▲9.3%
	資金原価	14	11	▲22.1%
	売上総利益	49	47	▲4.1%
営業貸付 事業	売上高	11	11	▲0.9%
	売上原価	—	—	—
	資金原価	1	1	—
	売上総利益	10	10	▲4.6%
リサ 事業	売上高	—	50	—
	売上原価	—	34	—
	資金原価	—	5	—
	売上総利益	—	11	—
その他の 事業	売上高	51	39	▲23.7%
	売上原価	39	34	▲13.4%
	資金原価	0	0	—
	売上総利益	12	5	▲57.9%

<<賃貸・割賦事業>>

・基本リース料等の減少により、売上総利益は前年同期比4.1%減

<<営業貸付>>

・企業融資手数料の減少を貸付利息がカバーしほぼ前年同期並み

<<リサ事業>>

・個別では11億円の売上総利益を確保

<<その他の事業>>

・解約売上等の減少により、売上総利益は前年同期比57.9%減

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いたベース

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

3) 事業別契約実行高の状況 (連結)

事業別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	前年増減
賃貸・割賦事業	306	217	▲29.1%
賃貸事業	294	212	▲27.9%
割賦販売	12	5	▲60.5%
営業貸付事業	582	538	▲7.5%
営業貸付金	253	238	▲5.7%
一括ファクタリング	329	300	▲8.9%
その他の事業	3	6	146.8%
計	891	762	▲14.5%

[参考] 事業別成約高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	前年増減
賃貸・割賦事業	355	296	▲16.8%
賃貸事業	347	291	▲16.0%
割賦販売	8	4	▲49.2%
営業貸付事業	584	538	▲8.0%
営業貸付金	255	238	▲6.8%
一括ファクタリング	329	300	▲8.9%
その他の事業	2	4	48.1%
計	942	837	▲11.2%

《契約実行高》

- ・賃貸・割賦事業は、前年の官公庁の競合激化による期首未検収残の減少や前年の大口案件の影響により、前年同期比29.1%減
- ・営業貸付事業は、東日本大震災後のサプライチェーン寸断の影響によるNECグループ全体の資材調達減に伴う一括ファクタリングの減少等により、前年同期比7.5%減

《成約高》

- ・賃貸・割賦事業は、足下では拠点は前年を上回るペースで進捗、特に官公庁は大口案件の獲得により健闘

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

4) 賃貸事業の営業状況 (連結)

業種別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	構成比
官公庁	110	95	44.6%
民需	111	74	35.0%
サービス業	31	28	13.4%
流通業	32	17	8.0%
製造業	22	19	9.0%
その他	27	10	4.6%
計	222	169	79.6%
小口リース	73	43	20.4%
合計	294	212	100.0%

機種別賃貸事業契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	構成比
情報通信機器	198	147	69.3%
電子計算機及び関連装置	98	68	32.0%
ソフトウェア	87	73	34.2%
通信機器及び関連装置	13	7	3.1%
事務用機器	6	8	3.6%
その他機器	17	14	6.7%
計	222	169	79.6%
小口リース	73	43	20.4%
合計	294	212	100.0%

[参考] 業種別成約高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	構成比
官公庁	181	189	64.9%
民需	94	59	20.3%
サービス業	25	14	4.8%
流通業	22	16	5.3%
製造業	17	17	5.8%
その他	30	13	4.4%
計	275	248	85.2%
小口リース	73	43	14.8%
合計	347	291	100.0%

・契約実行高 (除く小口) 前年同期比は
23.7%減

・小口リース新規受注停止の影響は、前年
同期比30億円減

・成約高 (除く小口) 前年同期比は9.6%減
・官公庁では大口案件を獲得しており、
前年同期比4.6%増

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

5) 注力分野の営業状況 (連結) (一括ファクタリングを除く営業貸付事業の状況)

契約形態別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	構成比
立替・APF・割賦バック	7	3	1.3%
個別ファクタリング	77	68	28.5%
診療報酬債権流動化	70	65	27.1%
企業融資	62	68	28.7%
その他	36	34	14.4%
営業貸付事業 計	253	238	100.0%

業種別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第1四半期	2012/3期 第1四半期	構成比
官公庁	19	10	4.2%
民需	233	228	95.8%
サービス業	84	76	31.9%
流通業	8	7	2.8%
製造業	67	77	32.3%
金融業・保険業	1	—	0.0%
不動産業	30	40	16.8%
その他	43	29	12.1%
計	253	238	100.0%

- ・注力分野では前年同期比5.7%減 (14億円減) となるも、企業融資で6億円増加
- ・流動化の新スキーム案件で製造業の取扱も引き続き伸長

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

6) リサ事業の営業状況 (売上総利益) 第1四半期(1-3月)

(単位: 億円)

旧
リ
サ
グ
ル
ー
プ

	プリンシパル 投資業務	ファンド業務	インベストメント バンキング業務	
企業	企業投資 4	ソリューション・ ファンド 3	コーポレート・ アドバイザリー 0	8 ※
債権	債権投資 3	地域企業 再生ファンド 0	債権 アドバイザリー 0	4
不動産	不動産投資 4	不動産 共同投資 2	不動産 アドバイザリー 0	6
	11	6 ※	1	17 (売上総利益計)

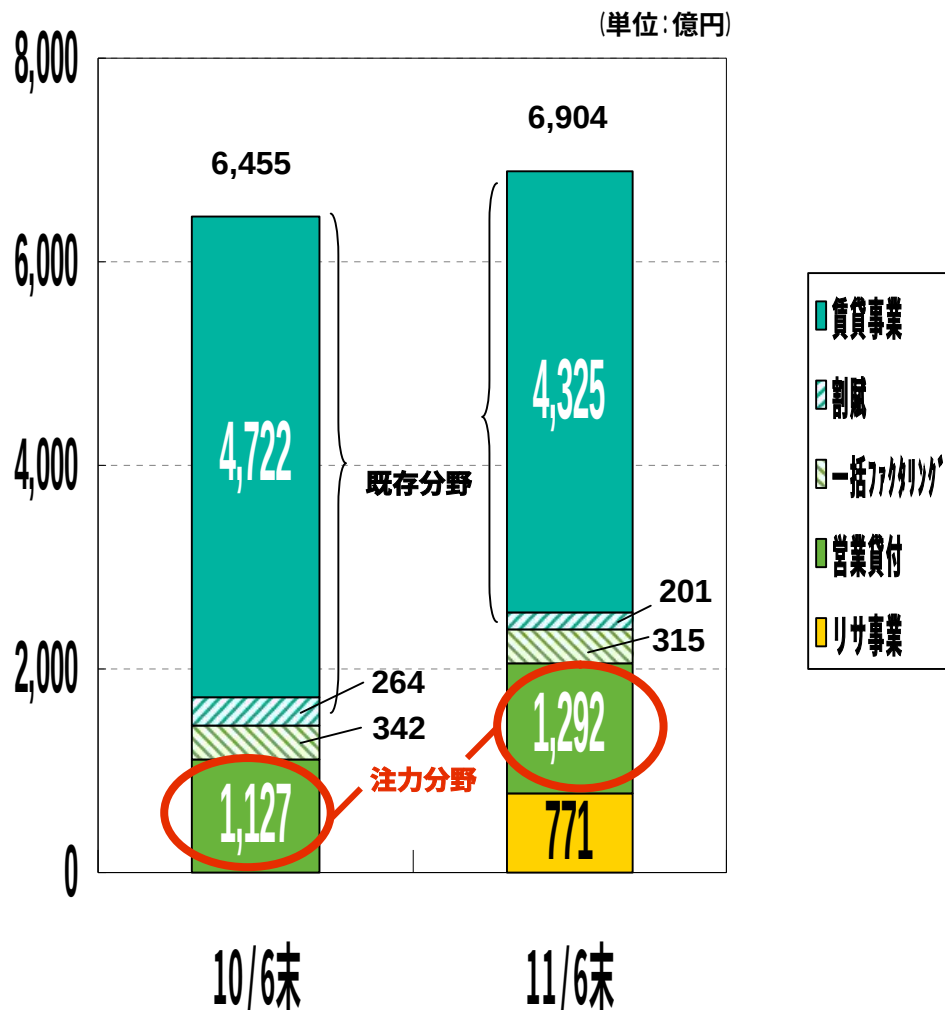
▲ 6 (連結調整)

11 (リサ事業
売上総利益)

- ・企業.....ソリューション・ファンドを中心に、投資活動と売却活動を推進中
- ・債権.....債権買取を中心に、各種取り組みを推進中
- ・不動産...不動産投資については売却を推進中
- ・連結調整6億円の内訳...資金原価の振替等

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

7) 営業資産残高の状況 (連結)



<<営業資産残高>>

・全体では449億円増加し、前年同期比7.0%増

・[既存分野] 貸付・割賦事業は契約実行高の減少の影響から、前年同期末比9.2%減

・[注力分野] 営業貸付は、企業融資の増加等により前年同期比14.6%増

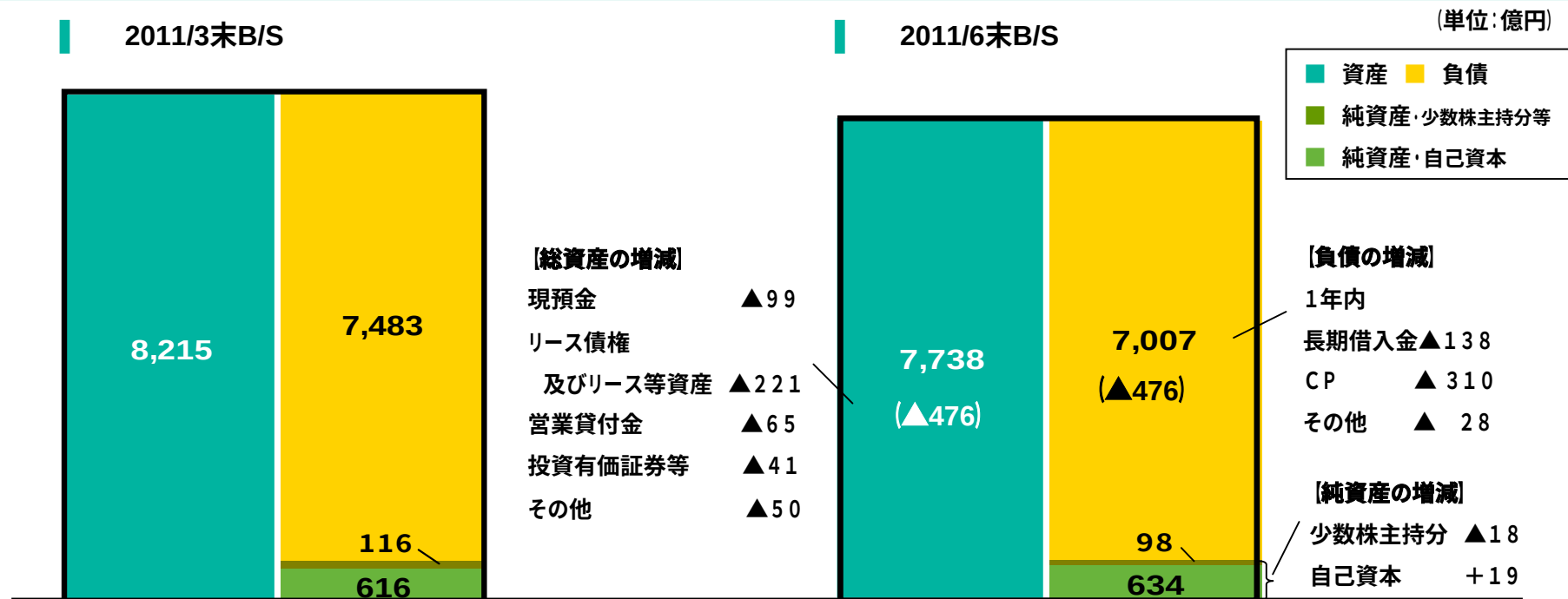
・[リサ事業] 771億円の内訳

営業投資有価証券	113
買取債権	171
投資有価証券	82
販売用不動産	404

1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

8) 貸借対照表の状況 (連結)

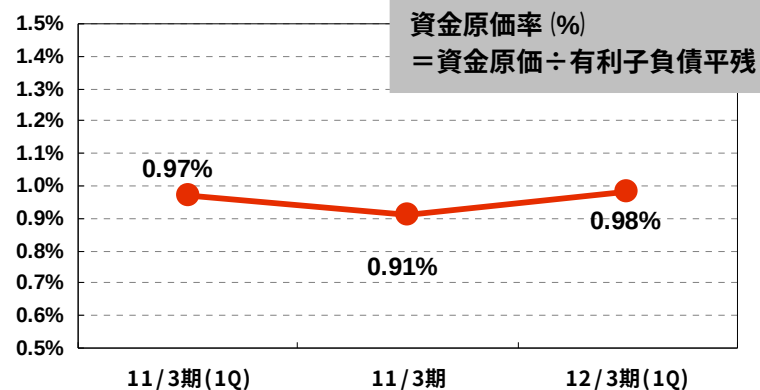
- 総資産...リース債権及びリース投資資産の減少、現預金の減少等により前期末比476億円減
- 負債.....資金需要の後退から476億円減
- 純資産...自己資本 19億円増、少数株主持分 18億円減 自己資本比率 7.5%→8.2%(+0.7%)



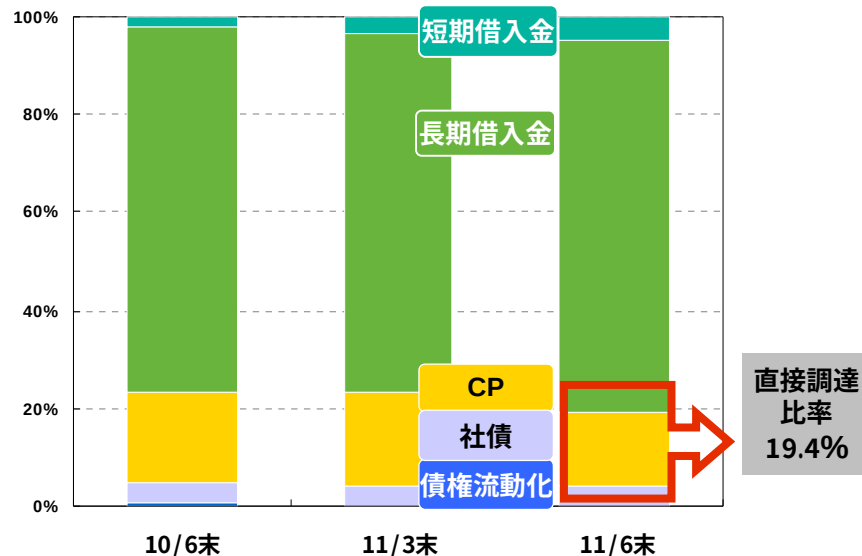
1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

9) 資金調達の状況 (連結)

資金原価率



有利子負債構成比



有利子負債残高

(単位: 億円)

	2011/3期末		2012/3期		増減
		構成比	第1四半期末	構成比	
短期借入金	250	3.6%	336	5.1%	85
長期借入金	5,104	73.5%	4,976	75.5%	▲128
CP	1,330	19.1%	1,020	15.5%	▲310
社債	250	3.6%	250	3.8%	0
債権流動化	15	0.2%	6	0.1%	▲9
計	6,949	100.0%	6,588	100.0%	▲361

- 連結後の資金原価率は0.98%
リサ連結により前期末比0.07%増
- 当社単独ベースでは0.83%と改善
CP・マーケットレートの低下、有利子負債平残の減少等による
- 直接調達比率は主にCP残高の減少により低下傾向にある
(2011/3末 22.9% → 2011/6末 19.4%)

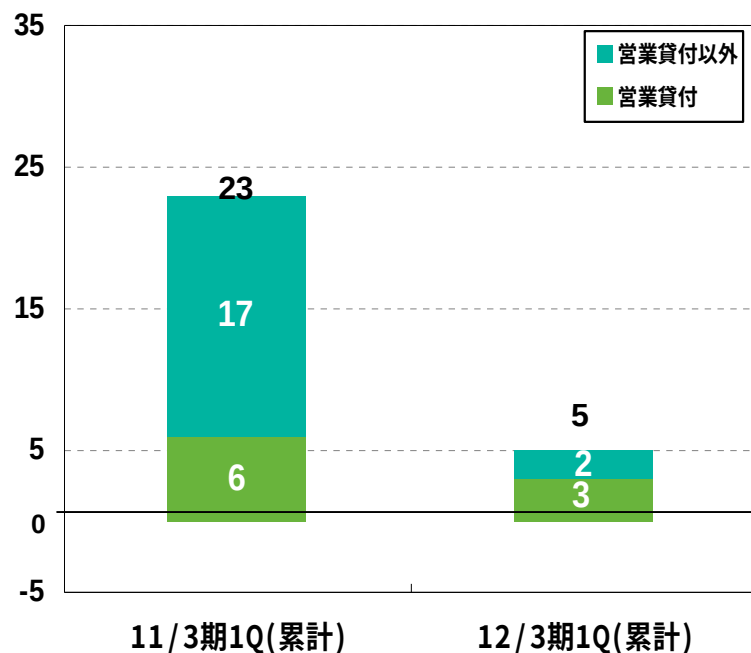
1. 2012年3月期 第1四半期実績報告

10) 与信関連費用 (連結)

- 継続中の与信管理体制強化が奏功し、与信関連費用は大幅に減少
- 注力している営業貸付でも目立った大型倒産はなく、リースについても鎮静化傾向

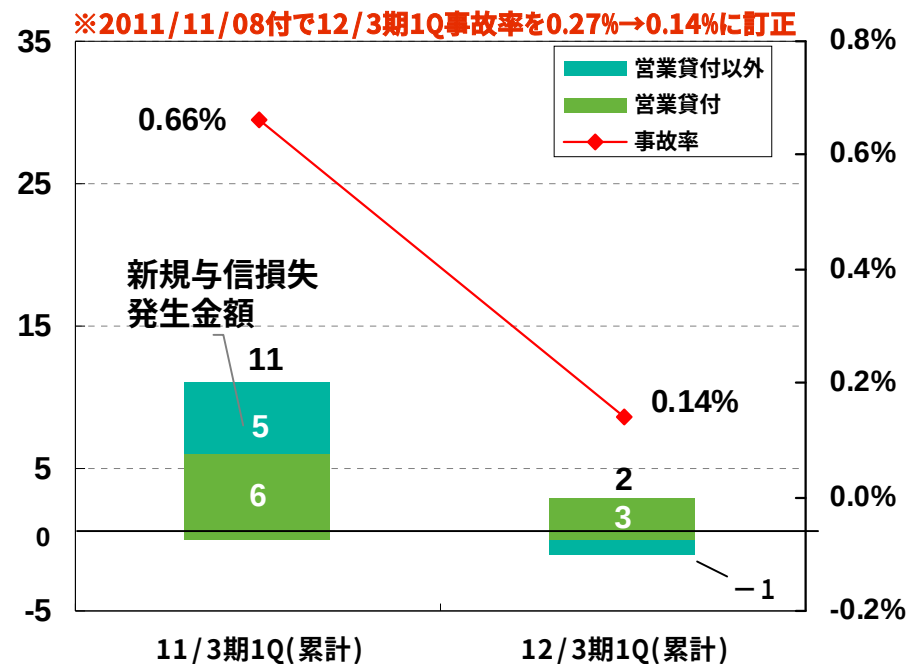
与信関連費用

(単位: 億円)



個別引当費用

(単位: 億円)



事故率 (%)

= 新規倒産損失発生金額 ÷ (営業資産平残 + 破産更生債権平残)

※新規倒産損失発生金額 = 破産更生債権 + 懸念債権

2. 2012年3月期計画

1) 連結業績予想

連結業績予想

(単位: 億円)

	実績		予想		前年増減
	2011/3期 通期	2012/3期 第1四半期 (累計)	2012/3期 中間期	2012/3期 通期	
売上高	2,276	578	1,300	2,400	5.4%
営業利益	91	32	35	70	▲23.3%
経常利益	90	32	35	70	▲21.9%
四半期純利益	37	22	17	30	▲19.4%
1株当たり純利益 (円)	172円78銭	100円56銭	78円95銭	139円32銭	-

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2012/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2011/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

Empowered by Innovation

NEC